

テーマ：「LOVEファッション」展について

年老いたカビの匂いとけものしゅう獣臭香水を経て無臭に変わる

川上圭子

驚いて少し止まって考えて変換したら全部が愛だ

杉田美和

締めつけて身体をつくりエトセトラ昔も今も変わらないかな

hiron

テーマ：私の装いに就いて

鎧かつ蛹わたしがそのままのわたしで歩くためのブラウス

青木 菓子

ためいきがオートクチュールに溶けてゆくそよ風はファンファーレに変えよう

青木 菓子

鱗剥ぐようにスカート脱いだときわたしはわたしに生まれ直すの

青木 菓子

テーマ：私の装いについて

うすかわの新しいわたしまとうのだくたびれたひびをかがやかすため

下岡史奈

むらさきは幸せ運ぶわたし色朝な夕なと纏うたびとも

hiron

しょーもない服ふく着てしょーもない日ひ々びを送おくるだなんて、できない、私わたし。

京都のAMY

テーマ：私の装いについて

紅^{べに}さしてタイトワンピースにピンヒール^{したばら}下腹^{へこ}凹まし内腿^{うちもも}力^{りき}む

京都のAMY

上等なひとではなかった母想うスカーフのシミ褪^あせても消えず

北川順子

羽も輪も子も授からず白いシャツ貫^ぬい受けるために出かける

七遊

テーマ：私の装いについて

ネックタイ
CLOTHES は女性名詞と定まりてうなじに絡むやわらかき檻

遼太郎

君がくれしハンカチーフの青、寒く何処にもゆけぬ雨の三月

遼太郎

日めくりカレンダーよろしく繰り返すワードローブにビビデイ・バビデイ・ブー

彩藤不見樹

ワンマイルドレスいつもわたしを連れ出して夜ふかしの味浴びて帰るね

彩藤不見樹

親友の形見のコートに手を通しオレンジ色と町闊歩せむ

松本佳子

探してる最後の切り札鮮やかに特別になる普通のピースを

蘭
ふみ



ロエベ/ジョナサン・アンダーソン ミュール
2022年春夏 京都服飾文化研究財団所蔵 来田猛
撮影

絶景と呼べない日々の後ろにも咲いていたのだ真っ赤な薔薇が

澤田悠生



ロエベ/ジョナサン・アンダーソン ミュール
2022年春夏 京都服飾文化研究財団所蔵 来田猛
撮影

手にすれば始まっている鮮血の花が朽ちるまでのカウントダウン

神守彩枝



ロエベ/ジョナサン・アンダーソン ミュール
2022年春夏 京都服飾文化研究財団所蔵 来田猛
撮影

ハイヒール踏んだ跡からミモザ咲くそんな呪文が書かれた頁

北川順子



ロエベ/ジョナサン・アンダーソン ミュール 2022
年春夏 京都服飾文化研究財団所蔵 来田猛撮影

今は亡きうなじのあとにはおずりを脱ぎ捨てた午後
に愛を知るだけ

下岡史奈



ウエストコート 18世紀 すべて京都服飾文化研究財団所蔵 守屋友樹撮影

ジレのうち浮かびいでたる汗の跡
18世紀のかほりこもれり

みずたま



ウエストコート 18世紀 すべて京都服飾文化研究財団所蔵 守屋友樹撮影

一枚に小さな世界つむがれるジレのキャンバスはおとぎの絵画

ある貴族の女性



ウエストコート 18世紀 すべて京都服飾文化研究財団所蔵 守屋友樹撮影

はりつけ
磔の身頃鱗を剥ぎ皮を接いでかえらぬ標本とする

彩藤不見樹



ウエストコート 18世紀 すべて京都服飾文化研究財団所蔵 守屋友樹撮影

服というリボンを躰にかけてゆく決してきみに解けぬように

神守彩枝



ヴィクター&ロルフ/ヴィクター・ホスティン、ロルフ・スノラン ドレス「カロリーナ」 2005年春夏 京都服飾文化研究財団所蔵 畠山崇撮影

胸元のリボンがリズムを刻んでる速まる鼓動を奥に隠して

渡辺万莉



ヴィクター&ロルフ/ヴィクター・ホスティン、ロルフ・スノラン ドレス「カロリーナ」 2005年春夏
京都服飾文化研究財団所蔵 畠山崇撮影

祝祭をしよう少年のこころごとサテンの波に身を投げながら！

清水愛華



ヴィクター&ロルフ/ヴィクター・ホスティン、ロルフ・スノラン ドレス「カロリーナ」 2005年春夏 京都服飾文化研究財団所蔵 畠山崇撮影

喰らうのか泣くのかそれとも歌うのか三十二個の真珠を贈ろう

川上圭子



ロエベ/ジョナサン・アンダーソン ドレス 2022
年秋冬 京都服飾文化研究財団所蔵 来田猛撮影

唇が胸にもひとつあったなら君の名を呼ぶ
まっさきに呼ぶ

北川順子



ロエベ/ジョナサン・アンダーソン ドレス 2022
年秋冬 京都服飾文化研究財団所蔵 来田猛撮影

目の奥にたぎる想いの嘘のなき真つ赤なドレスがよく似合う人

勘解由美帆



ロエベ/ジョナサン・アンダーソン ドレス 2022
年秋冬 京都服飾文化研究財団所蔵 来田猛撮影

何者かにいつかはきつとなることの祈りにも似てピンクの礼拝堂^{モスク}

神守彩枝



シルヴィ・フルーリー 《フィッティング・ルーム》
2023年 ©Sylvie Fleury Courtesy of the artist
and Sprüth Magers

フィッティングルーム

試着室のなかで服は服のままわたしだけに光った

膝乃サラ



シルヴィ・フルーリー 《フィッティング・ルーム》
2023年 ©Sylvie Fleury Courtesy of the artist
and Sprüth Magers

仕方なく回るあなたを軸にして同心円に広がる花野

深川 泳



デイ・ドレス 1831年頃 京都服飾文化研究財団
所蔵 畠山崇撮影

俯いたときに目が合う胸元の薔薇咲くならば、
したたかに咲く。

膝乃サラ



デイ・ドレス 1831年頃 京都服飾文化研究財団
所蔵 畠山崇撮影

草花になりたいなんて
言ったなら君はとまどい
笑うだろうか

蘭
ふみ



マメクロゴウチ/黒河内真衣子 ドレス 2018 年秋
冬 京都服飾文化研究財団所蔵 来田猛撮影

触れたいか引っ込めたいかカラフルに手揺らしいなすやわらかな距離

あおりんごずき



(右) ノワール・ケイ・ニノミヤ/二宮啓 ドレス、トップ、ショート・パンツ 2023年秋冬 ©京都服飾文化研究財団、福永一夫撮影

“Just the way you are”
あ り の ま ま ま
溢れ溺れて口をつく
それが出来たら悩んでないよ

あおりんごずき



ヴォルフガング・ティルマンズ 《Kyoto Installation 1988-1999》
2000年 京都国立近代美術館所蔵 福永一夫撮影

いにしへの恋も政治も
ローブ・ア・ラ・フランセーズ君だけが知る

みずたま



ドレス（ローブ・ア・ラ・フランセーズ）1775年（素材は1760年代）京都服飾文化研究財団所蔵 畠山崇撮影

ミラーボールある部屋内に着て行かばいかに見らるるこの花びらの

澤田悠生



スーツ (アビ・ア・ラ・フランセーズ) (部分)
1810 年頃 京都服飾文化研究財団所蔵 小暮徹撮影

屍を装う時代ありてなほガラスの瞳空を求めん

川上圭子



帽子 1910年頃 京都服飾文化研究財団所蔵 来田猛撮影

野の花と月の雫を縫い
とって照らしていた
いきみの横顔

荒木文子



エリーズ ドレス (プレゼンテーション・ドレス)
1890 年頃 京都服飾文化研究財団所蔵 来田猛撮影

なにを着て行^ゆこう身体^{からだ}という仮の宿を飾って光の方へ

荒木文子



AKI INOMATA 《やどかりに「やど」をわたしてみる
-Border- (ニューヨーク)》 2010年 個人蔵 ©AKI
INOMATA

口蓋に怒り染み付く私の身体のもうひとつがひかりだす

深川 泳



(左) ヨシオクボ/久保嘉男 ドレス、シューズ
2023年春夏 © 京都服飾文化研究財団、福永一夫 撮影

ウエストも後ろ姿も焼き付けたいきみのひとみにわたしのシルエット

ある貴族の女性



ウォーキング・ドレス 1884年頃 京都服飾文化研究財団所蔵 来田猛撮影

赤子抱くときはきちんと取ってるよあなたがくれたポリュームリング

勘解由美帆



松川朋奈 《それでも私が母親であることには変わらない》 2018年 個人蔵 ©Tomona Matsukawa courtesy of Yuka Tsuruno Art Office

ミルク色の毛皮に聞けば遠き日の異^{クリスマスマス}国の聖夜^{イブ}を教えてくれる

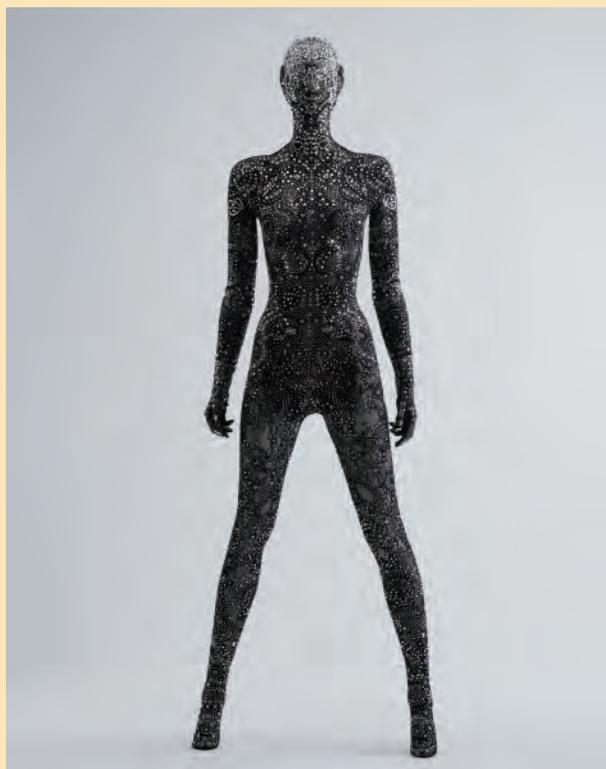
七遊



ルイ・ヴィトン/マーク・ジェイコブズ アンサンブル
2004年秋冬 京都服飾文化研究財団所蔵 畠山
崇撮影

物凄
い夜景
みたい
に物凄
く煌め
いて煌
めいて、
敵意

七遊



ソマルタ／廣川玉枝 ボディウェア スキンシリーズ
《PROTEAN》 2007年 京都服飾文化研究財団
所蔵 来田猛撮影

目を閉じて庭を飛んでる青い翅^{はね}最期に映って棺で眠る

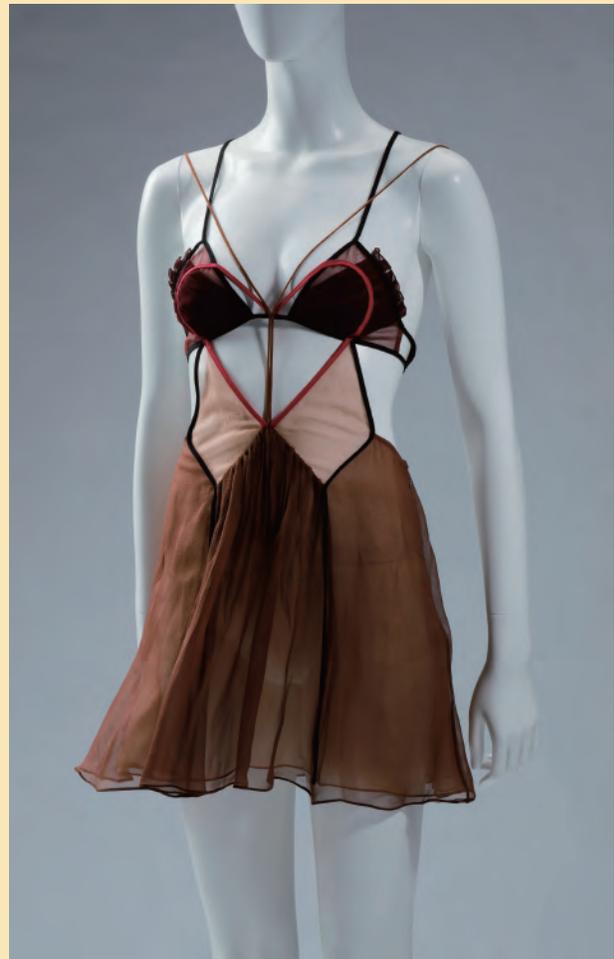
渡辺万莉



ウォルト店/ジャン=フィリップ・ウォルト ドレス（部分）1912年頃 京都服飾文化研究財団所蔵 来田猛撮影

一体に生地と肌とが重なって初めて自分に触れた気がする

渡辺万莉



ネンシ・ドジョカ ドレス 2021年秋冬 京都服飾文化研究財団所蔵 来田猛撮影

ギンケイは剥製となり貴婦人の帽子を飾り空を見つめる

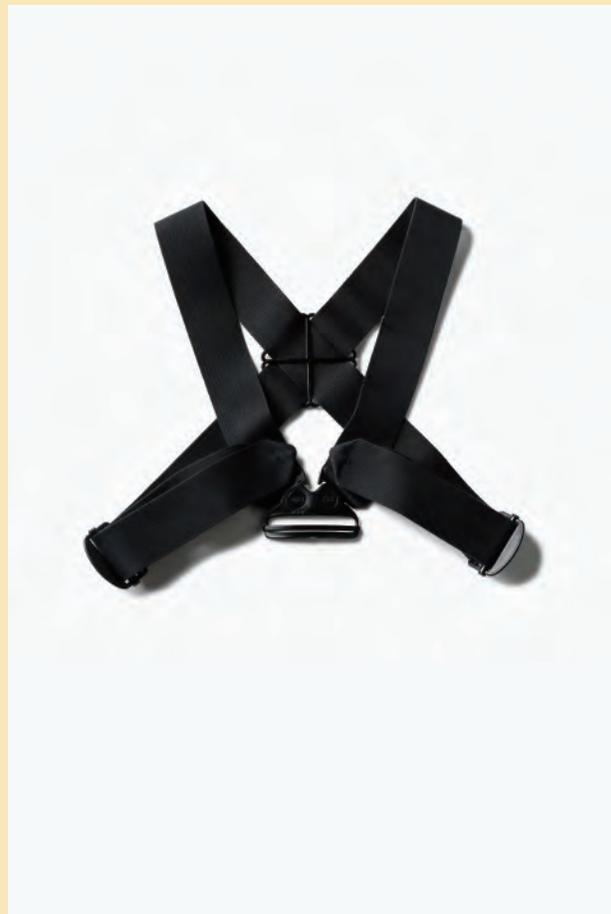
松本佳子



帽子 1910年頃 京都服飾文化研究財団所蔵
来田猛撮影

好きだ
なって
名前を
見たら
ハーネス
でこれ
がファ
ッショ
ンなこ
とうれ
しい

杉田美和



ヘルムート・ラング/ヘルムート・ラング ハーネス
2003年秋冬 京都服飾文化研究財団所蔵 守屋
友樹撮影

ガラス越しみんなわたしを見た
とたん空が恋しい顔になります

杉田美和



帽子（キャノティエ） 1907年頃 京都服飾文化研究財団所蔵 広川泰士撮影

たくさんのクマを纏って【安心】はどの子が担ってくれるのだろう

膝乃サラ



J・C・ド・カステルバジャック/ジャン＝シャルル・ド・カステルバジャック コート 1988年秋冬 京都服飾文化研究財団所蔵 来田猛撮影

ねえジャンヌ甲冑脱いでやわ布で止まぬ虐殺とどう生きればいい

清水愛華



(右) バレンシアガ/デムナ・ヴァザリア 鎧、靴
2021年秋 © 京都服飾文化研究財団、福永一夫撮影

ヴェール越しよだかの傷を撫でるとき私は呼びたい眼の星座と

清水愛華



ゴルチエ・パリ・バイ・サカイ/ジャン=ポール・ゴルチエ、阿部千登勢 ドレス、シャツ、Tシャツ、レギンス 2021年秋冬オートクチュール 京都服飾文化研究財団所蔵 守屋友樹撮影